



### 從軍者の地租軽減

#### 戦死者迄延長さる

規定なきを憾む平市からの  
建議が漸く採用されて

應召軍人及び軍属の地租は事  
變中軽減される規定によつて  
これを行はれてゐるが戦死し  
たる軍人、軍属に對しては其  
のことなきため平市では縣に  
向つて同様の軽減方を進言し  
たが規定なしとの回答に同市  
から去る六月六日  
軍變により戦死したる軍人  
軍属の田、畑収益は出征中  
の収益と何等變る事なき事  
議となつた

### 生前の功に對する

#### 井上氏の平消防葬

會葬實に數千名に及ぶ  
近來稀に見る盛儀

平消防組頭故井上茂作氏が公  
共諸般に一生を盡された中に  
於て殊に消防に對しては「消  
防を語る」の著書もあり全圖  
的に其の名を知られてゐる功  
績に對し今二十一日午後一時  
同市第三小學校講堂に於て消  
防葬を執行されたが午前十一  
時までの故人宅は大日本消防  
協會長末次内相から贈られた  
花輪を初め同協會及び縣消防  
協會長その他からの贈花百基  
を超えて叩門ひきも切らず第  
三小學校に移る消防葬への行  
列並びに會葬参列者數千を算  
し死して尚ほ余榮を絶たされ  
る近來稀の盛儀であつた

日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日  
日刊報日曜日

デコレーションは裝飾  
品、勳章の贈りだ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ  
デコレーションデコ

### 無砂七分搗の 食米宣傳

近き市内にビラ

平署管下における精米、米穀  
商七十余名は昨二十日午後二  
時から同署會議室に會して大  
須賀本縣衛生課長臨席の下に  
主食改善につき協議の結果中  
央に於て提唱されてゐる無砂  
七分搗米の販賣奨励をなすこ  
とに申合せ近く平署及び市役  
所並びに業者の合同で宣傳ビ  
ラを配付し極力同米の普及を  
なすことになつた

### 俵米共販の出荷簿

今日の定取二七三俵

石城郡販賣聯合會に於ける今  
二十一日の俵米共同販賣は前  
回同様の出荷り薄で左記二百  
七十三俵の出荷に過ぎず午後  
二時頃までの入札十數名を數  
へたが相場は前回に比して大  
變りありませんか御伺ひ申  
し上げます、同縣から出征  
致しました齊藤長次君には  
此の度名譽ある國旗の巻と  
なられたる御便り、齊藤君  
の如き方には少し働いて  
頂きたくと思ひます眞  
に哀悼に堪えません、同君  
には勿論最初からの覺悟で  
はありませうが其の

### 戦地 身命を惜まず働く の便

平市中盤出身 引地 定義

華々しい決心にむくゆべく  
吾々は一層の努力をなさね  
ばならぬと思ひます、我々  
共第一地區に居りますか  
同じく第一地區と云つても  
色々ありまして其の時の戦  
況によつて傷病將士の輸送  
に當るとき、また〇〇〇〇  
に戦友を見舞ふときの氣持  
ちは到底筆につくされませ  
ん、皆様の歡呼の聲に送ら

### 無錢飲食常習

最近に於て六回

石城郡高久村の下高久管波政  
常習は最近また平市大工町  
カハリ食堂で二回五十錢の無  
錢飲食をなし平署に突き出さ  
れたが同人はこれで前後六回  
の無錢飲食である

### 毛布献納

平市で七十七枚

平市に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇  
軍に於ける第一線にある皇

### 史家の態度を明にす

(特に湯本の正義町民に與ふ)

故に私は同氏の熱意に應じ  
て、既に結城宗廣、北畠親房  
廣橋禎泰等の史料たる御野、  
國魂、相馬、岡田、根本、結  
城、大慈山等に参見して、湯  
本に之が南朝關係の有力城址  
の發見に基き、猶も精査して  
同氏の懇望に副はむとし、同  
氏が偶々歸省するに際し、私  
は之と同行して湯本町に重ね  
て掘り、遂に右の城址を定め

### 日素の職工三名 で一名を毆傷害

小名濱町の日素工場勝呂組植

木鐵工所に於て作業中の同組  
飯場鍛冶工西村政男(三)同組  
く木部清定(三)同管谷孝太郎  
假名(二)は去る十九日正午頃  
仕事のことから同町松の中鐵  
骨工菅原國雄(三)と口論の末  
國雄を前記三名で袋叩きにし  
鍛冶用鉄で頭部その他に全治  
こと發覺檢査された

### 平消防組

副委員長 關内正一  
副組頭 井上貞治郎

府、伊達の靈山、白河の掬  
山(か)、田村の宇都峯で、  
此等に據れる勤王家に就き  
ては、近世既に水戸光圀、  
松平定信の大義名分に依つ  
て天下に周ぬる表識された  
が、猶此の外大小の關係遺  
蹟は算えるに暇ない程あら  
う。然し當時東北の鎮定に  
際して最も重視せられたるの  
は、常野與總間に於ける官  
軍連絡の據地であり、從つ  
て其の攻守本據たる城柵の  
支持であつたのは勿論で、  
又菊多刺(勿來關の原名)外  
海道上の之が最要の所は實  
に三箱の湯本城であつたこ  
とは、予が嘗て昭和七、八

### 同僚のトランク

から十圓を盗む

石城郡内郷村の白水磐城炭礦  
坑夫大隈文吉(二)は去る十八  
日午前八時頃同坑合宿所内の  
同僚菅原龜之進のトランクか  
ら現金十圓五十錢を窃取した  
こと發覺檢査された

### 護國院殿葬送の際に遠路御會葬

被成下殊に御鄭重なる御香奠を

年頃、結城宗廣の事歴を研  
究する傍ら、附帶的に之を  
知つたので、昭和九年夏實  
地に探求し、次へて去年正  
月再び之に抵つて精査し、  
序いで湯本町に於て是の  
事を講演し、同時に先輩が  
三箱と湯本を二地と述べた  
るを、予は三箱の湯本なる  
一箇所と論定して、郷土並  
に中央新聞・雜誌等に之を  
發表した。又今年の夏三度  
び湯本町に至りて考證を費  
した結果、當城址こそは前  
顯の四大忠蹟と併列するも  
のと認めるに至つた所以で  
ある。



牛蒡栽培に革命  
代挿法 [上]  
種子を播かすに  
頭根を植える

長期戦下に於ける戦後の生産力増強を目指す静岡縣東郡では此の程沼津市の自治会館で郡下篤農青年の研究発表座談会を開いた、此の席上同郡印野村の青年山崎資三君の研究発表による「代挿法牛蒡栽培」は従来の栽培方法を根底から覆すものとして登壇の専門家を驚かした、同方法は種子は蒔かずに数年栽培した牛蒡の頭根によつて栽培するもので一株九本乃至十二本の根身が生ずるほか肉質は軟く空洞、分根を生ぜず静岡縣程の温暖なる土地では一株一百日ぐらゐのものは樂に收穫出来る、また販賣の方面でも二度に多量收穫があるから安値に賣つても播種栽培より遙かに利益があると云ふ廢物利用の一大發見である、その發表の内容を報すれば次の如くである、

◆土地、静岡縣駿東郡北部海抜六百米の高冷地帯、砂質土壌、耕種として最も悪い場所である、  
◆栽培法、種子がなく牛蒡栽培とは異様な事だが前年栽培した牛蒡を代挿法によつて種子の代用となすもの、即ち料理の際切捨てられ根の部分分を約二寸程利用する、  
◆栽培上の成績  
頭根 枯死率  
一、四 良好 一九％  
一、五 五分稍良 一二％  
一、六 不可能 六％

一寸 同 五四％  
一寸五分同 三八％  
品種は瀬の川を優良とし大浦は不能  
◆整地、深耕にして元肥を施す、元肥は底より三段に分配し施すのが最適である

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平市 田町  
用命は

◆二段印刷物  
無引受致します  
新しい新聞社  
印刷部

Table with 4 columns: 日 (Date), 品目 (Item), 定額 (Fixed Amount), 備考 (Remarks). Items include 月カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ, 水カワレツ.

大河内 整形科外醫院  
平市搔槌小路  
電話五八八番

北川外科  
外科一般 内臓外科  
泌尿器科  
レントゲン科  
晝夜診察  
平市新川町二七(電話四六四)

根本産科科醫院  
平市市町  
根本莊次郎  
根本貞雄  
電話三三三番

RESTAURANT MARUTOMO  
堂食モトルマ  
電話二二三番

病室増築、手術室完備  
産科 醫學博士  
婦人科 五十嵐雄二  
平市新川町「電話二六九番」

ツルヤ 電話一四〇  
豊富陳列 漸新型  
皇軍戦勝二冬品會の第一線に立つ  
子供帽子 中折帽子  
ス・ハイン G.H.N 元詰  
ゴルフポートワイン  
味 香 甜 1.20  
婦人の方には少し水を加へて  
百し上ると風味一そう佳良です  
(平2) 西村屋薬舗 (電3)

明雲堂眼科醫院  
平田町(三丁目裏川岸通)  
電話六六九番  
入院應需(自炊の便あり)

和洋銅鐵、金物問屋  
店商屋釜  
九九・九電

靴の修理は  
「草の素」で  
革を使用せず  
定價 小40 中60 大70  
皮草材料品港の折柄靴は多履き捨てにならずに革の素にて御修理下さい、御使用法は至つて簡單で誰にでも容易で在來の革より數倍勝る耐久力があります、其の他、スリッパ、革履、ゴム製品、下駄等高能接合劑として重寶、是非一度御試し下さる様  
製造元 東京 昭利理化學研究所  
特約店 平田町三三三 山野邊セメント工業所

サロソ  
町田平 二五三電